

大きな夢や、自分の目標を叶えたり、達成せ
たりするためには、やはり、身近な一つ一つを
どれだけ丁寧にやるか、金銭的な面で
なと思っていた。それはつまり、本番で張り
きりするのはいけないというとなへへなと思っ
ていた。日々の練習、日々の生活のルーティン
で張りきれる人こそ、夢を叶えることができる
というところ。逆に、しつこく努力しないのに
本番でいきなり背伸びして夢を叶えるには
ほど遠い。だから、日々の取り組みで張り
きれる人、夢を叶えることができる人になりた
いと思いました。

自分の好きな事を仕事にできるのは本当にすごいことだと感じました。私がこの話
を読んで一番心に残ったのは「困難な事が立ちはだかっているときにこそ、夢への扉
を一枚開けるチャンス」という言葉で。私はよく多くの人の前で話す機会があります。しか
し元々人の前で話すことが苦手な性格で、それは今も苦手意識があります。機会がある
と、私は一度「嫌だ」と思います。しかし一歩踏み出すことで自分のからが一枚わ
れているように思います。現時点で自分の中に将来の目標はありませんが、この経
験は必ずこの先役に立つと信じています。人の前で話す機会はずっとたくさんある
と思いますがその時は困難ではなく、チャンスと捉えるようにしたいです。成功かどう
かが大切なのではなく、挑戦したこと、その先で得た貴重な成功体験、失敗体験が
自分自身をつくっていくものだと思います。結果ではなく過程に重きを置き、前向きに
取り組めるようにしていきたいです。勇気を出すという行動は大きなことに見えますが
授業内の自主発表や、自分の思いを皆に伝えるという小さなことでも出来ると思
います。また私はクラスメートなど人の勇気を受けとめられる人になりたいです。人を否定
するのではなく、思いを受けとめ、ちゃんと返してあげられる人になりたいと思います。